

第2回 埼玉県小売業SAFE協議会

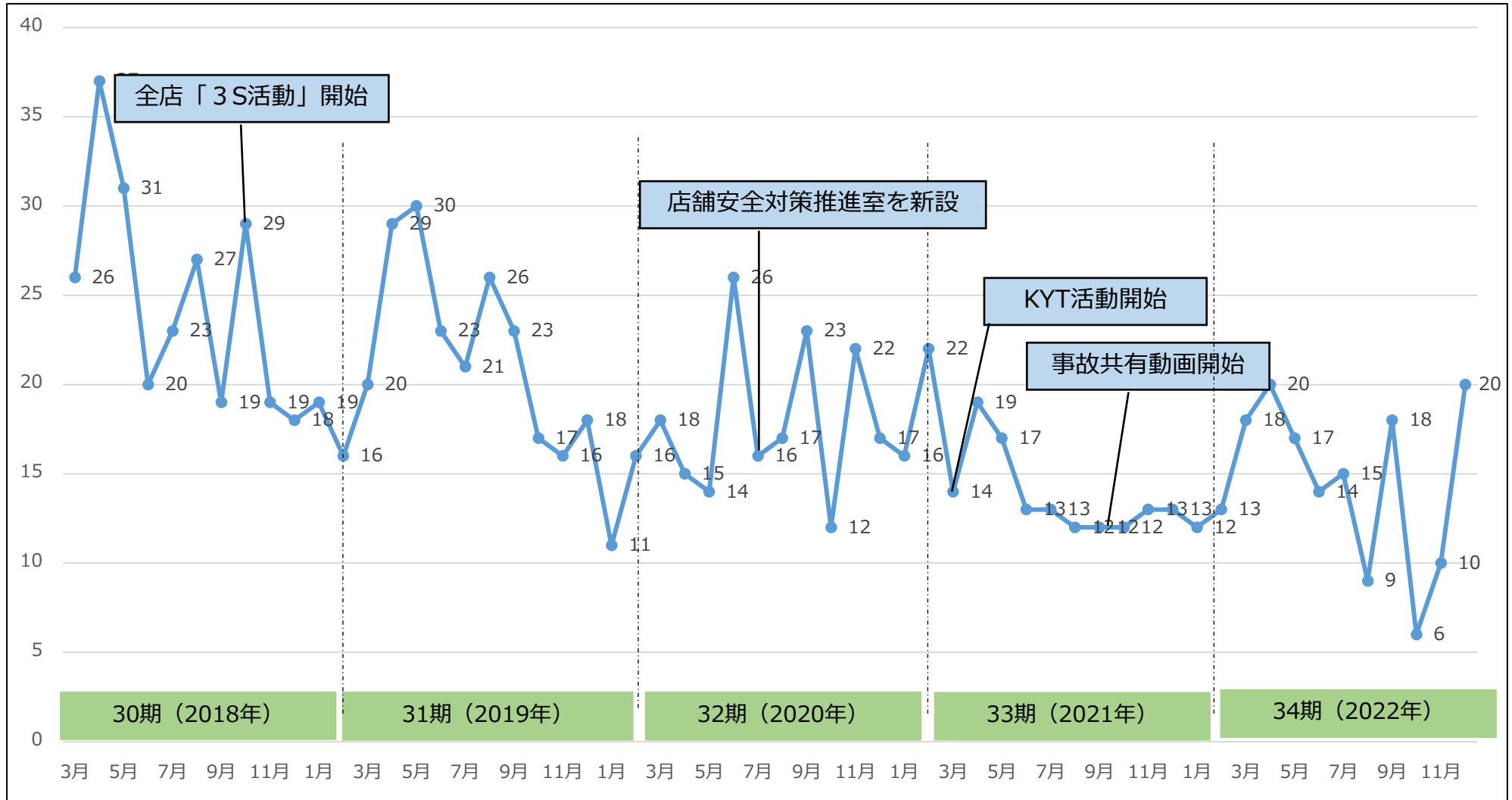
2023年2月2日(木)

株式会社 カインズ
販売本部 店舗安全対策推進室
室長 坂田 昌之

1. 事故件数推移
2. 第4回_3ヶ月無事故運動
3. 高所作業対策_オリジナル踏み台の導入
4. 切傷対策_カイコーンの導入
5. 質疑・応答

1. 事故件数推移

✓ 34期は前年累計に対し+5件で推移しているが、中長期的には減少傾向で推移している



2.第4回_3ヶ月無事故運動

【目的】

- ・ 全社をあげて安全に対する意識の向上（継続的に事故を減らすための契機として実施）

【背景】

- ・ 毎年10月～12月にかけて、全社をあげて全店舗無事故を目指した安全推進の活動
- ・ 今回で第4回目の開催

【課題】

- ・ 毎年「3ヶ月無事故運動」を開始しているものの、新たな施策設計が課題

【対象メンバー】 全店舗・全メンバー（アルバイト含む）約24,000人

【34期施策】 アルバイトまで含めた全メンバーに対し、「**目標設定シート**」を作成・掲示
毎月目標を更新することで、安全意識の形骸化を防止する

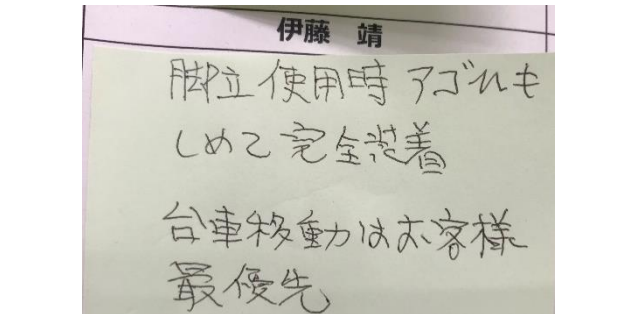
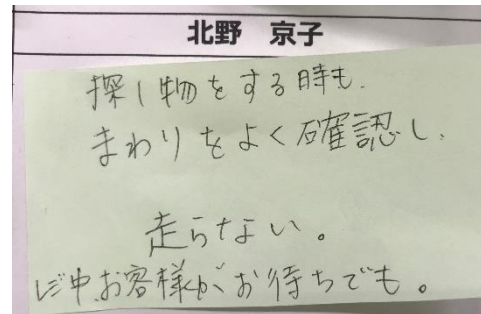
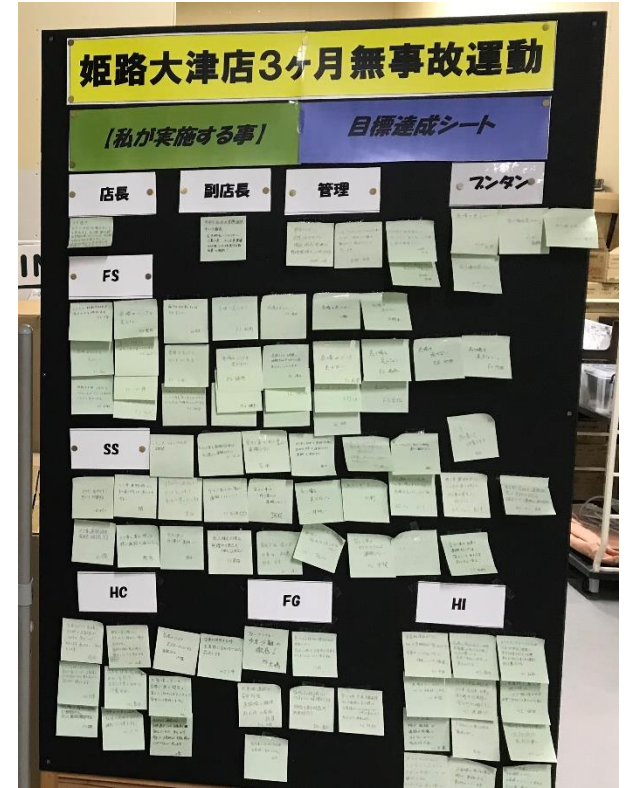
【期間】 毎年 10月～12月までの3ヶ月間

2.第4回_3ヶ月無事故運動

【3ヶ月無事故運動ポスター】



【目標設定シート】



2.第4回_3ヶ月無事故運動 結果

✓ 労災件数は過去最少となったものの、12月度の単月の労災事故が3件増加

【第1回～第4回_労災件数】

	31期 (2019年)	32期 (2020年)	33期 (2021年)	34期 (2022年)
労災件数	35件	36件	24件	22件
前年差	—	+9件	▲12件	▲2件

【34期_月別労災件数】

	10月	11月	12月
31期 (2019年)	13件	11件	11件
32期 (2020年)	9件	16件	11件
33期 (2021年)	8件	8件	8件
34期 (2022年)	3件	8件	11件

2.第4回_3ヶ月無事故運動 結果

✓ カッター負傷事故、踏み台事故が減少

	31期 (2019年)	32期 (2020年)	33期 (2021年)	34期 (2022年)
切傷・裂傷	5件	5件	5件	3件
激突・衝突	16件	18件	8件	7件
転倒	7件	6件	4件	4件
高所作業	2件	3件	3件	1件
その他	6件	5件	5件	7件

【目的】

- ・高所作業（脚立・踏み台）の労災事故は、重傷事故につながるリスクが高いため、安全性の高いカインズオリジナル踏み台を開発し、高所作業の事故の減少

【背景】

- ・踏み台からの転落事故は、毎年10件～15件前後で推移し、転落事故の減少が頭打ちとなっている
- ・「脚立の利用方法」のマニュアルが古く、厚生労働省の推奨している「脚立の使い方」などの運用に則っていないマニュアルとなっていた

【内容】

- ・「脚立の利用方法」のマニュアル改定
- ・より安全性の高い（踏み面が広い、安定感のある）カインズオリジナル踏み台の開発

3.高所作業対策_オリジナル踏み台（一段・二段）

【一段踏み台】



※2021年11月導入

【機能面】

- ・踏み面が広く、安定感がある
- ・持ち手があるので、降りるときに踏み外しにくい構造
- ・アルミ素材のため、持ち運びが軽く、女性や高齢者のメンバーにも身体的負担が軽減できる

【二段踏み台】



※2022年11月導入

【厚労省現場視察会】



※タイムマシーン3号が体験

3.高所作業対策_脚立の利用方法のマニュアル改定

- ✓ 2022年9月に「脚立の利用方法」のマニュアルを改訂。
- ✓ 2022年10月の「安全対策ワークショップ」で全店を対象に「高所作業をなくすために」という議題テーマで検討・討議し、新マニュアルの浸透と定着をはかる

2017/09/20 改訂業務改訂番号:作成
2018/06/13, 2019/12/23, 2021/03/24, 2022/09/23 一歩改訂

標準名	脚立の利用方法	
タイプ	業務グレード	
発生年度	フレッシュター	18-15-Q2
いつ	誰が	誰が
発生年度	全メンバー	新規本部

概要(目的・果たすべき役割)
 (仮)高所作業などで使用する脚立を正しく、安全に使用する基準です。
 (仮)重大事故防止のため。

基準(禁忌事項)

●脚立の使用基準

- 1.使用する前に、がたつきや破損している箇所がないか確認する。
※がたつきや破損などがある場合には使用しないこと。
- 2.脚立を使用する際は、衝撃吸収ライナー付ヘルメットを着用すること。
 <ヘルメットの正しい着用について>
 (1) かぶり方
 まっすぐ深くかぶり、後ろに傾けてかぶらないこと。
 (2) ヘッドバンドの調整
 ヘッドバンドは、顔の大きさに合わせて調整し、確実に固定すること。
 ※ヘッドバンドの調整が悪いと使用中ぐらついたり、脱げやすく、保護性能を十分に発揮することができません。
 (3) あごひも
 あごひもは緩みがないようしっかりと締め、着用中は、ゆるめたり外さないこと。
 ※事故の際、ヘルメットが脱げて重大な被害を受けます。
 まっすぐ深く ヘッドバンド調整 あごひもをしっかり

3.脚立は必ずロックを掛けて使用すること。

4.3点支持の状態で、作業すること。※昇り降りする時も同様です(3点支持)

(3点支持とは)
 通常、両手、両足の4点のうち、3点により身体を支えることを指すが、身体の重心を脚立にあおずる場合も、両足を併せて3点支持になります。
 ※天板での作業は、確実にバランスを崩し、やすいので、絶対に禁止です。

2017/09/20 改訂業務改訂番号:作成
2018/06/13, 2019/12/23, 2021/03/24, 2022/09/23 一歩改訂

●禁止事項(使用方法)
 ※バランスを崩し、転倒や、転落の危険があります。

天板に乗って作業しない

踏んで作業しない

座って作業しない

体を乗り出さない

垂直方向の作業はしない

脚立を背にして昇り降りしない

荷物を持つての昇り降りしない

※踏み台で、届かない箇所へ「荷物を載せる」
 ※踏み台で、届かない箇所から「荷物を降ろす」場合は、ラックサーを使用 ※テンキョ 「ラックサーの運転」を確認し、ルール遵守して、使用すること。

応酬にラックサーがなく、やむを得ず、脚立で荷物を載せたり、降ろしたりする場合は、2名以上設置し、受け渡しをする。

梯子として使用しない

脚立に乗ったまま移動しないこと

2017/09/20 改訂業務改訂番号:作成
2018/06/13, 2019/12/23, 2021/03/24, 2022/09/23 一歩改訂

●禁止事項(使用場所)

滑りやすい場所

やわらかい地面(砂利、土)

積材がある場所

段差がある場所

●脚立の管理方法

- 1.使用する際は、所定の場所から持ち出し、使用後は片づける。
 ※脚立置場には、ヘルメットを設置しておく。
 ※脚立は、バンジーゴムを使用し、傷れないよう固定する。
 ※ヘルメットは、衝撃吸収ライナー付ヘルメットを使用する。
 (ヘルメット参考JAN: 4562116361735)

4.切傷対策「カイコーン」の導入

【背景】

- ・ホームセンター業界は品出し時のカッターの使用頻度が高いため、切傷事故が慢性的に発生し続けている
- ・「カッターの使用方法」マニュアルはあるものの、持続的な教育が難しい

【目的】

- ・カッターの使用頻度を少なくするために、新道具「カイコーン」を導入し、カッター使用時の切傷事故を減少させる

【対象メンバー】

- ・品出しに関わる全メンバーへ支給（※約14,000人が使用）

【交換頻度】

- ・使用頻度によって違いがあるため、切れにくくなり次第、現物交換対応

4.切傷対策「カイコーン」の導入



【導入の目的】

- ・カッターの刃を出す、しまう作業の減少 ⇒ 開梱作業の効率向上
- ・カッター使用頻度の低減 ⇒ ケガなど事故の低減、キズ物発生の低減
※刃の部分が接触しない構造なので安全

●段ボールテープの開梱 (PPテープも可能)



●PPバンドのカット



●ストレッチフィルムの開梱



質疑・応答